

管内45力所で 水稲現地研修

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA

伊勢は5月下旬～6月



参加者の質問に答える
同JAの職員⑤

28日のうちの12日間、管内45力所で水稲現地研修会を行う。生育期の水管理や農薬散布、追肥のタイミングなどを確認し、品質の向上につなげるのが狙い。

研修会では、同JA職員と伊勢志摩地域農業改良普及センターの担当者が、田植え後の管理や今後の気象概要を説明。被害の大きいカメムシなどの害虫対策では、水稲の出穂前に水田周辺の草刈りを

行うことですみかをなくして防除、安定した収量の確保を目指す。稲の収量や品質に大きな影響をもたらす、いもち病の予防や早期発見も呼びかける。